



2026年8月7日

各 位

会 社 名 リリカラ株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長執行役員 岡田 卓哉
(コード番号9827)
問合せ先
役職・氏名 取締役専務執行役員コーポレート本部長 平山 雅也
電 話 03-3366-7845

2026年12月期第2四半期(中間期)業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

2026年2月13日に開示した2026年12月期第2四半期(中間期)業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

1. 2026年12月期第2四半期(中間期)業績予想と実績値の差異(2026年1月1日~2026年6月30日)
(単位:百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	中間純利益	1株当たり 中間純利益
前回発表予想(A)	16,300	140	50	30	円 銭 2.43
今回実績(B)	16,378	△49	△125	△91	△7.39
増減額(B-A)	78	△189	△175	△121	
増 減 率 (%)	0.5	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2025年12月期第2四半期)	15,364	△177	△220	△146	△11.88

2. 差異の理由

2026年12月期第2四半期(中間期)の業績につきまして、売上高はスペースソリューション事業において一部に中東情勢を背景としたオフィス工事の見送り等もあり、受注額が当初想定を下回りましたものの、不動産投資開発事業における販売用不動産の売却が前倒しで実施できたことにより、全体としては概ね計画通りの結果となりました。

一方、利益面ではスペースソリューション事業における受注額の減少や、インテリア事業における新見本帳の前倒し配布など戦略的な費用投下により、営業利益、経常利益、中間純利益はいずれも予想数値を下回ることとなりました。

なお、通期業績予想につきましては、インテリア事業における6月末に実施した販売価格改定の浸透および見本帳配布の前倒し効果により利益回復が見込まれることから、2026年2月13日に開示した業績予想を据え置いております。また、7月28日に熊本県熊本地方で発生した地震による業績への影響については、当社従業員、事業所の建物・設備に大きな損害はありませんでしたが、現時点では市場動向に与える影響を合理的に見積ることが困難であるため、今回の業績予想には反映していません。今後、業績に重大な影響が見込まれる場合は速やかに情報開示いたします。

(注) 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて掲載しております。実際の業績は、今後様々な要因によって上記予想とは大きく異なる結果になる可能性があります。

以 上